

数本のわらは、おばあさんの手にかかるとあつという間に美しい縄に姿を変えた。高島市の過疎集落で取材したしめ縄作り。「昔は麻を育てて繊維を取り、着物も自分で作った」。お年寄りの技術には目を見張る。

生活の中で培われた技術や知恵を、京都大農学研究所の星野敏教授は「地域ナレッジ」と名付けた。ナレッジとは英語で「知識」をいう。自然とつきあうノウハウや伝統文化

## 地域ナレッジ

なども、地域ナレッジだ。過疎と高齢化で存続が危ぶまれる「限界集落」が問題になっている。星野教授は「地域活性化の種が、地域ナレッジに含まれている」と話す。

### かいつぶり

今は体験型観光や特産品開発が村おこしの主流だ。例えば山菜加工品を作るにも、採取できる場所や調理方法を知らなければ商品開発できな

い。地域の祭りを見せようにも、祭事の知識がなければそれもかなわない。

農山村でお年寄りが減ると同時に、多くの地域ナレッジが評価されることなく消えつつある。縄のない方を言葉で言い表すのが難しいように、多くの技術や知識は見よう見まねで継承されてきた。忘れ去られつつある地域の知に、再び光を当てることが必要だ。

(目黒重幸)